

登米市のできごと
おしらせします！

TOPICS

防火や交通安全、防犯の 誓いを新たに

消防団・交通安全指導隊・ 防犯指導隊出初式

市内の各町消防団・市交通安全指導隊・市防犯指導隊出初式が、1月3日から8日にかけて各地で開催されました。豊里町では1月4日、消防団員、婦人防火クラブ員ら約120人が稲荷神社に集合。防災祈願をした後、町内を菊地団長を先頭に威風堂々と街頭行進をしました。



団長に各分団の人員を報告する副団長（豊里町）

行進の後、豊里多目的研修センターで団員に永年勤続の表彰状が伝達されました。南方町では1月8日、旧役場駐車場で開催。消防団員、婦人防火クラブ員ら約160人が参加し、通常点検や服装点検が行われました。その後、ラッパ隊の演奏に合わせて、佐藤団長を先頭に街



消防車両が出動し団員らによる街頭行進（津山町）



交通安全指導隊員に永年勤続の表彰状が贈られました



隊長の号令に合わせて一斉に警笛を鳴らす防犯指導隊員

頭行進。南方武道伝承館で今年は無火災を祈願しました。同日津山町では、消防団員、婦人防火クラブ員ら188人が参加。消防車両とともに柳津小から麻崎神社へ街頭行進をしました。津山町は、平成16年6月6日以来無火災であり、昔から火災の少ない地区で知られています。そのほか、各町消防団の出初式でも、消防団員らが防火の誓いを新たにし、今年一年の無火災を祈りました。市交通安全指導隊と市防犯指導隊の出初式は1月7日、迫体育館で開催されました。交通安全指導隊出初式には、市内各地区から隊員約110

人が参加。点呼後、服装点検が行われました。布施市長は「昨年、市内で発生した交通事故で15人の方が亡くなり、前年を上回った。今年もすでに1人が亡くなっている。交通ルールを守ることで事故を減らせる。指導隊の皆さんには、より一層任務にまい進してもらいたい」とあいさつしました。市防犯指導隊出初式は、登米、東和、中田、南方地区から隊員約50人が参加して開催されました。野村佐沼警察署長は「昨年は米山で警官殺傷事件が発生した。今年には明るい話題だけの一年となるようお願いしたい」と話しました。

昔ながらの凧づくりに挑戦

登米小学校でふるさと学習会



真剣に凧づくりに取り組む登米小児童

ふるさと学習会（登米公民館、登米小学校共催）が1月18日、登米小学校で開催され、6年生児童50人が『とよま凧』の作りに挑戦しました。この学習会は、ふるさとに古くから伝わる『とよま凧』

の特徴や作り方の学習を通して、地域の伝統文化に触れ、自分で作った凧で昔の遊びに親しんでもらうことを目的に毎年開催されています。地元のア部昭夫さんと菊地香行さんを講師に迎え、凧の説明や竹を扱う注意点などを聞いた後、3人から5人のグループに分かれて凧づくりに取り組みました。この日の作業は骨組みまでで、2月1日にはすべて完成させ、凧あげをします。児童の中には、作った凧で2月5日の「とよま凧あげ大会」に参加する子もいます。

伝統の獅子舞で家内安全

津山で横山火伏せの獅子舞が巡回



獅子舞を見た子どもたちは泣いたり喜んだりしていました

横山火伏せの獅子舞（横山火伏獅子舞保存会、横山地区コミュニティ推進協議会共催）が1月2日、津山町横山地区の全家庭を巡回しました。正月の巡回は、家内安全・

火難消滅を願う伝統行事として古くから伝わっていました。が、一時期途絶えていたものを昭和55年に復活させ、以来毎年行われています。獅子舞を演じたのは、保存会の会員と会から指導を受けている横山小学校児童。笛と太鼓の軽快なリズムに乗って、勇ましい舞いを披露しました。巡回した家庭では、獅子舞の姿を見て泣き出す子もいましたが、お正月のにぎやかな伝統行事を体験しました。



ゴールの森公民館に向かって歩く参加者

第31回元旦あるけあるけ大会（森地区子ども会育成会主催）が1月1日、迫町森地区で子どもからお年寄りまで、176人が参加して開催されました。コースは、森公民館を発着点としたおよそ5キロの区間で午前6時15分に出発。中間点にある上行寺境内では温かい紅茶などを飲みながら休憩をとりました。7時ころには

初日の出を迎え、参加者から大きな歓声が上がりました。大会は、健康で明るい地域社会をつくることを目的に昭和51年から、毎年元旦に開催されています。全員がゴールした後、大会に通算10回・20回目の参加者への表彰状贈呈式や参加者全員で「お楽しみ抽選会」などをして、楽しい時間を過ごしました。

日の出目指してウォーキング

迫で元旦あるけあるけ大会



獅子舞が各家庭を回り家内安全を祈願しました

また、巡回の途中、道の駅でも披露され、初売りやもちつきに訪れていた帰省客を沸かせていました。